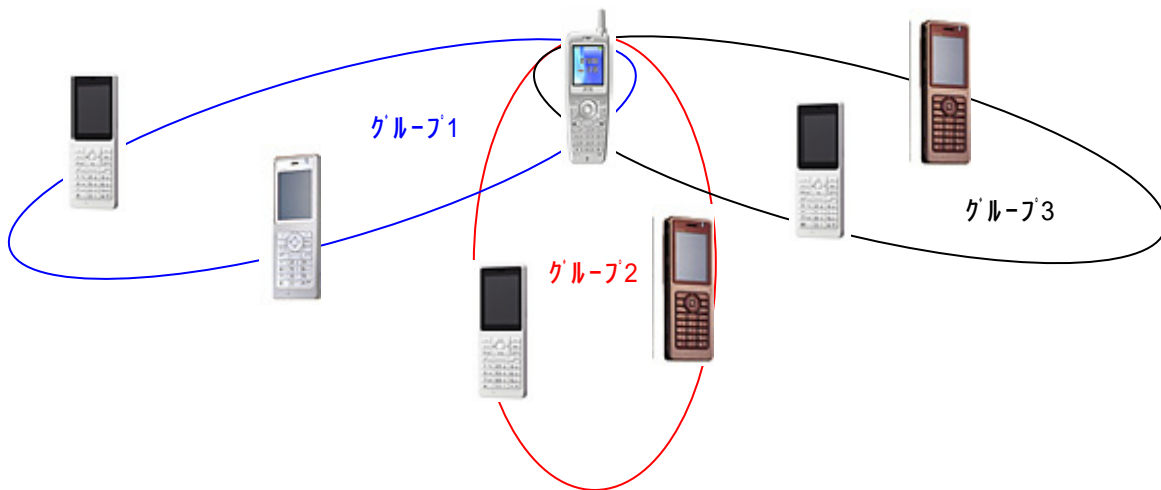


電話帳転送マニュアル

(AH-J3001/2V・3003S・WX220J WX330J・330JE)

- はじめに -

グループモード対応機種[WX220J(AH-J3001/2v,3003Sも同様)とWX330J(WX330JEも同様)]をグループ登録することにより、同一グループ間でトランシーバーとしてご利用いただけます。また、グループ登録の済んだ電話機同士は電話帳やブックマークの転送が可能になります。転送には「選択転送」と「全件転送」がありますが、ここでは、WX220Jにある電話帳データを全てWX330Jに転送を行なう手順をご案内いたします。



作業手順

作業内容	WX220J	WX330J	備考
1、グループ登録	する	する	
2、待受モードの変更	する	する	
3、電話帳転送	する	-	220Jのみの作業
4、待受モードの回復	適宜	する	今後も使用する場合、220Jも

用意する物



電話帳データの入ったWX220J



転送を受けたいWX330J/330JE

転送前のご注意

- ・登録可能な電話帳データは最大1,000件です。
- ・転送を受ける端末(330J/JE)に既に電話帳が登録されている場合、重複するデータは上書きされず全て追加されます。
- ・既存データのある端末に追加転送を行なう場合、合計で1,000件を越えるデータは転送されません。

手順 1、グループ登録

電話帳転送の下準備である、WX220JとWX330J(330JEも含む)のグループ登録を行ないます。

電話機はそれぞれ、親機(1台)と子機(最大8000台)に分けられます。尚、WX220J/330Jどちらが親機になってもグループ登録は可能ですが、便宜上、今回は220Jを親機(送信側)として解説しております。

登録作業は、2台並行して行ないます。

[WX220Jの作業]

【MENU】 【8 通信】
【2 グループ登録】を開きます。



【1. 登録】を選びます。



【*ボタン】を押下します。



[WX330Jの作業]

【 決定ボタン】 【5 機能設定】 【6 通信】
【2 グループ/転送】を開きます。



【1 グループ登録】を選びます。



【#ボタン】を押下します。



[WX220Jの作業]

任意のグループを選択し、
[決定ボタン] を押しま
す。



送信側(親機)のトランシーバ
番号は、0(固定)となっ
ています。
(330Jの工程 が終わる
のを待ちます)



同時の作業です

任意の暗証番号を入力し、
送信側(親機)から先に
ボタンを押します。

ポイント 参照



数秒待つて、画面に「送
信終了」と表示が出たら、
グループ登録完了です

「送信失敗」と表示が出た
場合は、 から登録し直
します。同じグループで登
録し直す場合、「上書き」
して画面を進んで下さい。



[WX330Jの作業]

220Jと同じグループを選択
し、[決定ボタン] を押し
ます。



受信側(子機)のトランシーバ
番号(1~8000)を入力し、
ボタンを押します。



注意:登録した子機番号
は、必ず控えて下さい。

同時の作業です

送信側(220J)と同じ暗証
番号を入力し、送信側が
ボタンを押した後に、受
信側(子機)も # ボタンを押
します。

ポイント 参照



数秒待つて、画面に「受
信完了」と表示が出たら、
グループ登録完了です

「受信失敗」と表示が出た
ら、 から登録し直しま
す。同じグループで登録し
直す場合、「上書き」して画
面を進んで下さい。



ポイント

この工程で # を押すタイミングは、基本的にはほぼ同時に行ないますが、親機を若干早めに # を押し、2~3秒後に子機の # を押し、登録の失敗が少なくなります。

手順 2、待受モードの変更

待受モードとは、利用する通信回線を選択する設定です。

グループ登録が完了したら、待受モードを“電話帳転送”もしくは“転送”に設定します。

[WX220Jの作業]

待受け画面から[MENU]
【8 通信】【1 待受
モード】を開きます。



【4 電話帳転送】を選び
ます。



待受画面左上に「グループ
電話帳転送」と表示され
ていれば、転送の準備が
出来ました。



[WX330Jの作業]

待受け画面から
【決定ボタン】【5 機
能設定】【6 通信】
【1 待受モード】を開きま
す。



【6 転送】を選びます。



待受画面左上に上下の
矢印のあるアイコンが表
示されていれば、転送の準
備が出来ました。



これで、準備が整いました。
いよいよ、電話帳転送を行ないます。

手順 3、電話帳転送

電話帳を転送する為の準備が出来ましたので、いよいよ、220Jから330Jに転送を行ないます。転送作業は、220Jのみで行ないますので、330Jはお手元に置いておくだけで構いません。

【MENU】 【3 電話帳】

【5 電話帳転送】を開きます。

待受画面から右カーソル押下で電話帳を開いても、電話帳転送の項目は選べません。



【1 電話帳】を選択し、【決定ボタン】を押します。



【2 全て転送】を選択し、【決定ボタン】を押します。

シークレットデータの登録があり、電話帳シークレットを“表示する”に設定している場合、当該データも転送するかの確認表示が現れ、「はい/いいえ」いずれかを選択します。



-2

シークレットの登録があり、電話帳シークレットを“表示する”に設定している場合、当該データも転送するかの確認表示が現れます。

「はい」を選択した場合、電話機の暗証番号を入力し、【決定ボタン】を押します。



グループ登録時に選択したグループ番号を押します。



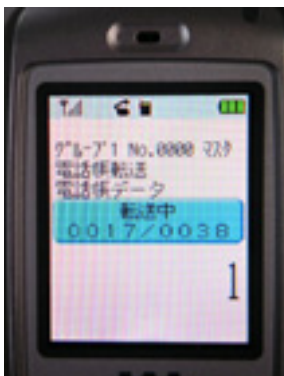
グループ登録時、子機(330J)に登録したトランスバ番号を入力し、【決定ボタン】を押します。



電話帳の転送が開始されます。

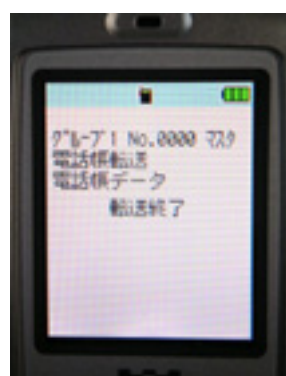
所要時間は登録件数により異なります(1000件で10分弱)。転送中にバックライトが消灯する場合がありますが、転送は継続されています。

転送中は【PWR】を押さないで下さい。



転送が完了すると、画面中央に『転送終了』と表示が出た後、待受画面に戻ります。

転送が完了したら、330Jに電話帳が登録されているかを確認します(☰ボタン押下)。



手順 4、 待受モードの回復

電話帳の転送が完了したら、待受モードを普段お使いの設定に戻します。
データ元の220Jは、転送後お使いにならない場合は、そのまま電源をお切り下さい。

[WX220Jの作業]

【MENU】 【8 通信】
【1 待受モード】を開きます。



普段ご利用頂くモードを選択し、【 決定ボタン】を押します。
各モードにつきましては、下表参照。



アンテナが表示された事を確認します。



[WX330Jの作業]

【 決定ボタン】 【5 機能設定】 【6 通信】
【1 待受モード】を開きます。



普段ご利用頂くモードを選択し、【 決定ボタン】を押します。
各モードにつきましては、下表参照。



アンテナが表示された事を確認します。



用途	モード	モード	用途
公衆回線(WILLCOM網)を使用した通話/通信	公衆	1. 公衆	公衆回線(WILLCOM網)を使用した通話/通信
会社内のPBX経由の通話/通信(内線・外線)	オフィス	2. オフィス	会社内のPBX経由の通話/通信(内線・外線)
トランシーブ通話	グループ	3. 公衆/オフィス	公衆・内線・外線の着信が可能
グループ登録した電話機間での電話帳/ブックマークの転送	電話帳転送	4. グループ	トランシーブ通話
公衆・内線・外線の着信が可能	公衆+オフィス	5. 公衆/グループ	公衆・グループの着信が可能
公衆・グループの着信が可能	公衆+グループ	6. 転送	グループ登録した電話機間での電話帳/ブックマークの転送

参考資料

早見表

作業内容	機種	ボタン操作	取扱説明書
1、グループ登録	220J	[MENU] [8] [2] [1] [*] [1(任意)] [暗証番号] [#]	13-8
	330J	[決定] [5] [6] [2] [1] [#] [220と同じグループ] [子機番号] [#] [暗証番号] [#]	8-7
2、待受モードの変更	220J	[MENU] [8] [1] [4]	13-12
	330J	[決定] [5] [6] [1] [6]	8-10
3、電話帳転送	220J	[MENU] [3] [5] [1] [2] [登録したグループ] [子機番号] [決定] ¹	13-12
	330J		8-10
4、待受モードの回復	220J	[MENU] [8] [1] [任意] ²	13-2、13-3
	330J	[決定] [5] [6] [1] [任意]	8-2

¹ 電話帳シークレットの設定がされていない場合。

² 転送後、使用予定が無い場合、操作不要。